

# 今日、いのちと健康を守る 統一行動

# 今年こそ超勤減らせ

一人の死亡者、病人も出さない確申期に



発行所 東京都千代田区霞ヶ関 財務ビル内 (〒100-0013)  
 全国税労働組合  
 発行人 岡田 俊明  
 電話 (03) 3581-3678  
 FAX (03) 3507-0886  
 振替口座 00140-2-68514

“税務の職場”  
 何でも110番  
 zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号まで)。全国税ホームページ  
<http://www.kokko-net.org/zenkokuzei>

## 審査等に分厚い人員配置を

### 局応援、挙署一体の拡充が急務

昨年、東京局は「新規施策が目白押しであり、想定外の事態が発生しないとも限らない」とし、「いざという時には、署長の判断で法人課税職員を投入できるよう配慮」を求めましたが「かけ声倒れ」に終わりました。そのため、個人・資産では連日3時間超勤がまん延。期限が終わって10日経っても、2週間経っても、個人課税部門は連日4時間超勤を強いられる前代未聞の事態が発生しました。

3月最終週になり、ようやく「非常事態宣言」を出す署長が表れましたが、連日2〜3時間の超勤は4月4日の入力期限まで続きました。

こうした問題を抜本的に改善する対策を庁局とも示さず、職員犠牲で確申期を乗り切る姿勢しか見えてきません。全国税は、一人の死亡者も病人も出さないため、超勤の大幅削減を中心に当局追及を強めていきます。

前代未聞の超勤が発生した理由は、挙げて人手不足にあります。さらに、「個資一体相



現場の悲鳴に応えよ！！

- ▼超勤抑制のため、局は署の状況を把握し局員応援を行え！
- ▼署は法人調査件数を減らし、名実とも挙署一体を拡充せよ！
- ▼開始時間はもとより、5時相談終了を厳守せよ！
- ▼昼休み45分を確保せよ！1日立ちっ放しにさせるな！
- ▼巡回コーナーでの「個資一体相談」はさせるな！
- ▼e-Tax競争はやめ、タッチパネルも活用せよ！

談」と巡回相談、来署型電子申告に人も時間も食われ、そのため、審査等からかなりの時間を要する作成用パソコンに軸足

い打ちをかけています。短時間に作成できるタッチパネルを廃止・縮小し、かなりの時間を要する作成用パソコンに軸足

3時以降は相談来署者からのプレッシャーを受けて

を移したため、大量の来署者を捌ききれない事態に。そこに、「昼休み問題」がでて、相談会場のだらだら感が増してきました。

3時頃になると、相談人員を減らして審査等に回せましたが、このころの様相が変わり、相談会場から人が引かない状態が顕著になり、事態は悪化の一途です。

審査に従事できる人も時間も削られた上、「従来事務に丸ごと乗せとなった電子申告書処理」が人手を食い、超勤増に拍車をかけています。

一日数百件の来署型申



告の電子情報が提出されると現場はパニックに陥りました。KSKヘッダー引き継ぎ、別便で届く添付資料とのデータ照合・審査、送信時間順の名寄せ、加えて、照合から7稼働日以内の管理部門回付、3週間以内滞付に担当者は追いまくられます。

さらに、自治体へのデータ交付(転写・閲覧)ミスを起こさないため、一般の審査等と同様に処理体制を分厚くする必要があります。

また、3月10日以降半数近く提出される申告書の処理は、4月初旬の入力期限まで「時間とのたたかい」です。期限直後郵送分の開封作業は「壮大な人海作戦」で乗り切らざるを得ず、膨大な人と時間を食います。そのため必要な人員配置の拡充も求めます。

超勤削減の決め手は、局応援の拡充、挙署一体体制で十分な人手を確保することに尽きます。その上で、①相談とは別に審査要員をきちんと確保する、②職員の健康状態と全体の流れをみて採配を振るえる「司令塔」をきちんと確保するよう求めます。

## 09春闘 賃上げも雇用も可能

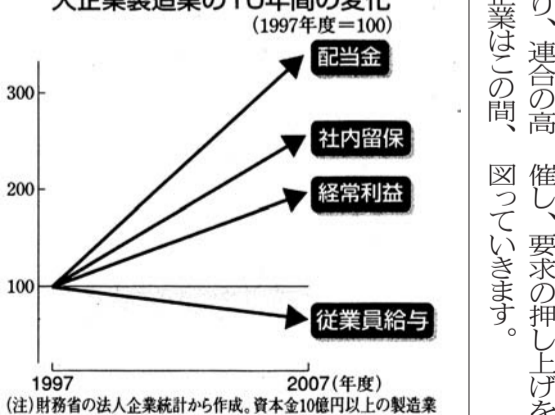


全労連・全国税などは、史上最高益をあげ、内部留保もある。賃上げ原資「貧困・生活危機突破の大運動で変えるぞ！ 大企業中心社会」をスローガンに、09春闘に決起しています。

左表のとおり、株主配当はここ10年で3倍、従業員給与は減少の一途、「地域総行動」を展開し社内留保は2.5倍となっています。

2月13日には、1万人が結集する、「なくせ貧困！ 仕事よこせ、守ろう雇用と暮らし！ 国民要求実現中央総行動」を開催し、要求の押し上げを図っていきます。

## 大企業は社会的責任を果たせ



全労連の大黒議長は、「大企業はほらもうけをばき出し、雇用と賃上げに対する社会的責任を果たせ」と迫り、連合の高木会長も「企業はこの間、

消費税を3%で導入した時も、5%に引き上げた時も、「社会保障のため」が理由だった。しかし、社会保障は相次ぎ改善され、給付は減り負担は増えた。消費税の増収201兆円はここ10年間で1兆円ほど減ったのか。法人税引下げ財源を問われた御手洗経団連会長が、あけすけに語った。「われわれのビジョンに、11年までに(消費税を)2%、15年までに3%位引き上げると明確に書いてある」と。法人三税の増収は164兆円も減り、その穴埋めに消費税が使われたが、さらにステップアップを迫っている。導入時と増税時に続き、また国民の信を問わず、増税のルール敷きにこだわったのは、財界の要望にこたえる一心だったことが透けてみえる。

持駒 飛桂香  
 一三三四五六  
 二四五六七八九

6	5	4	3	2	1
角	角	角	角	角	角

詰将棋  
 〈出題〉九段 西村一義  
 中級クラス  
 〈ヒント〉飛車と桂のコンビです。(10分で初段)



